



和良比小だより

令和8年度

第1号

発行4月7日

学校教育目標 「学びを力に、つながりを礎に、未来を拓く児童の育成」

「地域とともに、未来を拓く学校づくりの推進」の実現をめざして

校長 渡部 健

和春の訪れとともに、令和8年度がスタートいたしました。お子様のご入学・ご進級、誠におめでとうございます。私はご縁あって本校校長として四年目を迎えました。これまで築いてきた教育活動の成果と課題を踏まえ、さらなる充実と発展を図る一年を目指します。

さて、本年度は本校にとって大きな節目の年となります。コミュニティ・スクール(学校運営協議会制度)の導入により、学校・家庭・地域がこれまで以上に連携・協働し、「地域とともに子どもを育てる学校」へと新たな一歩を踏み出します。



本校の教育目標である「学びを力に、つながりを礎に、未来を拓く児童の育成」の実現に向け、これまで大切にしてきた「つながり」を、より実効性のある形へと高めてまいります。

その実現のため、本校は今年度、「四つの矢」をもって学校経営を推進いたします。

第一の矢 確かな学力の定着

「わかる授業」の徹底を軸に、授業改善を組織的に推進し、すべての児童に学習内容の確実な定着を図ります。ICT活用、読書活動、家庭学習を連動させ、学びの質と量の両面から成果を高まるようにしたいです。

第二の矢 一人一人を生かす指導の深化

児童理解に基づく生徒指導・教育相談体制を強化し、個に応じた支援を確実に実行します。「認める」「ほめる」指導を積み重ね、自己肯定感の向上と安心して学べる環境づくりを実現します。

第三の矢 主体性・協働性の育成強化

教育活動全体を通して、児童が自ら考え、判断し、行動する場面を意図的に設定します。縦割り活動や特別活動の充実により、実践的な力としての主体性と協働性を育てます。

第四の矢 地域とともにある学校の実現

コミュニティ・スクールの機能を最大限に活用し、学校運営への参画と協働を具体化します。四街道中学校区との連携を基盤に、地域の教育力や社会福祉の視点を取り入れ、持続可能な教育環境を構築します。

子どもたちは、学校だけで育つ存在ではありません。地域のまなざしや関わりの中でこそ、安心して挑戦し、自らの力を伸ばしていきます。地域の皆様とともに「子どもを真ん中に据えた学びの共同体」を創り上げてまいります。

本校のスローガンである「自ら学ぶ」「思いやりいっぱい」「進んで行動」のもと、教職員一同、「すべての子どもたちの可能性を引き出す学校」を目指し、組織的かつ計画的に教育活動を展開してまいります。

保護者の皆様、地域の皆様におかれましては、本校の教育活動へのご理解とご参画を賜り、ともに子どもたちの未来を育てていただきますようお願い申し上げます。

地域とともに歩むこの一歩が、子どもたち一人一人の未来を確かなものにし、やがては地域の未来そのものを創っていく——本校はその責任を自覚し、結果で応える学校づくりをめざしてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。